

平成29年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	7 - 2 - 10
事務事業名	公民館整備事業			担当課係	生涯学習課
総合計画上の位置付け	政策	②ひとりひとりが輝けるまちづくり		記入担当者	
	基本目標	6.心豊かなひとづくり		内線等	
	施策	6-1 教育の充実と文化の振興		E-mail	
	基本方針	6-1-3 生涯学習・スポーツの推進			
事業の実施主体				事業区分	経常事業
事業予算費目	款	10	教育費	項	5
	目	2	公民館費	事業	6
開始年度	29	年度	根拠法令・要綱等	建築物の耐震改修の促進に関する法律	

事業の概要（実施内容）	
事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 榑瀨、北小松島、和田島の3公民館の移転改築、転用改修、災害避難設備の追加改修など。
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 公民館の耐震化を実施し、生涯学習の拠点となる施設の整備を図る。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 耐震性や大規模改修の必要な公民館のうち、榑瀨、北小松島、和田島の3公民館の移転改修、転用改修、災害避難設備の追加改修など、順次施設の整備を進め、工事設計委託料や改修工事の前払い金を支出した。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 本市において、小中学校・幼稚園・本庁舎の耐震補強工事が完了している中、多くの市民が利用する公民館も早急に安全性を確保しなければならない。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名			指標の説明				指標化できない成果
	改修・改築施設数			耐震化・大規模改修の必要が生じ、当該工事と完了した公民館数				
	単位	H28	H29	H30	H31	目標年度 目標値		
館	目標		3	3				
	実績		0					
	達成度		0.0%					

活動実績・参考となる指標	指標名	単位		H28	H29	H30	H31	指標の説明
	委託料 和田島会館、榑瀨公民館及び北小松島公民館の設計監理料	千円	計画			7,828	3,718	
実績					4,363			
千円		計画			128,586	36,506		
		実績			73,317			

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

全体コスト（円）	関連事業費	28年度決算		29年度決算		29年度予算		30年度予算	
		A	直接事業費	8,618,400	78,103,184	78,819,000	35,012,000		
財源内訳	B	国県支出金	756,000	34,076,000					
		地方債		30,300,000					
		利用者負担							
		一般財源	7,862,400	13,727,184					
		人件費 ①×②	3,550,348	3,596,391					
		職員平均人件費①	8,875,871	8,990,977					
		従事した割合②/人	0.40	0.40					
		A + B	12,168,748	81,699,575					
単位コスト	活動指標の説明								備考
	活動指標 1 単位当たりコスト								平成28年4月1日現在 人口39,358人
	市民一人あたりのコスト								平成29年4月1日現在 人口38,817人

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 公共施設の耐震化は本市のみならず、国の重要施策であり、各地方公共団体とも急務として取り組んでいる。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 災害発生時に避難場所となる公民館の耐震化は必要不可欠であり、利用者の安全確保という観点からも早期の完了が望まれている。また、改修、改築の際にはトイレ等一部バリアフリー化するなど、高齢者や障がい者にやさしい施設にしてほしい。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	建物の構造耐震指標 (IS値) の低い施設の耐震化をすることにより、利用者の安全性が確保できる。また、避難所としての機能が保てる。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	市が直接実施するように法律、法令等で義務付けられている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	和田島会館を大規模改修をするにあたり防衛施設局の補助金等の活用や、屋上避難階段設置にあたり緊急防災・減災事業債を利用するためにH28年に申請している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	生涯学習活動及び地域活動を推進するため、また災害時に避難所としての役割を果たす公民館の耐震化は重要かつ急務である。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	補助金を活用できる和田島会館の改修工事が完了した。IS値の低い蘆刈公民館から改築工事を実施している。日峯大神子広域公園(脇谷地区)整備事業に伴い、移転を余儀なくされた北小松島公民館の代替施設として旧北小松島幼稚園を使用するための改修工事を実施している。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	耐震診断の結果をもとに、速やかに各種改修工事又は改築工事を進め災害被害の減少を図る。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る		80点以上	評価点による判定	判定に至った理由
		2 現状のまま継続する		60～79点		
2	事務事業の方向性	3 改善・効率化し継続		40～59点	評価点 79	建物の構造耐震指標 (IS値) 等の結果により、耐震補強や改築工事の設計から工事へと作業を進め、早期に耐震化を完了させ、市民が安全安心で快適に利用できる施設とする。
		4 終期設定し終了		20～39点		
		5 完了・休止・廃止		19点以下		

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る		判定説明
		2 現状のまま継続する		
2	事務事業の方向性	3 改善・効率化し継続		本事業を推進するためには、公民館改修・改築実施計画の策定が急務である。また、公民館の耐震化を進めるにあたり関係者との協議も進めなければならない。
		4 終期設定し終了		
		5 完了・休止・廃止		